

---

## 病いと人

### 医学的人間学入門

ヴィクトーア・フォン・ヴァイツゼッカー著

木村 敏訳

新曜社、A5判396頁、4,800円、2000年4月刊

(京都大学大学院) 山中康裕

---

待望の書が訳出された。本書の著者ヴィクトーア・フォン・ヴァイツゼッカーは、著名な哲学者にして理論物理学者のカール、そしてあの東西ドイツ統一の立役者だった大統領のリヒャルトという超有名なヴァイツゼッカー兄弟の伯父であり、彼自身は、ハイデルベルク大学医学部の神経内科学教授で、真の意味での「医学的人間学」の祖の一人であると言っても過言でない。

私が待望の、と書いたのは、この同じ著者の『神・自然・人間』（大橋博司訳、みすず、1971）、『ゲシュ